⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

@ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-177525

@lnt. Cl. ⁵

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成 4年(1992)6月24日

G 06 F 3/153

333 B

重

9188-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

60発明の名称: 切替器

②特 頤 平2-304746

@出 願 平2(1990)11月9日

 紀 義 東

東京都千代田区内奉町1丁目1番6号 日本電信電話株式

会社内

@発明者 岩本

治 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

日本電信電話株式

会社内

⑪出 顧 人 日本電信電話株式会社

理 人

弁理士 志賀 富士弥

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

明 細 書

1. 発明の名称。

切替器

2. 传許請求の範囲

(1) 表示装置と入力機器の入出力増子を有する 複数組の情報処理部と、これより少ない組数の表 示装置と入力機器からなる周辺機器とを任意に接 続して、該周辺機器の最大組数章での数のコンピュータシステムを構成可能にする切替器であって、 前記周辺機器に対応して設けられ前記情報処理 部から任意の一つを選択する切替スイッチボタン

依故の前記切替スイッチボタンからの選択信号 を受け同一の前記情報処理部が選択されたときに 一つの該選択信号に限定する規制回路と、

前に規制回路からの選択信号を受け前に周辺と 器に対応して一つの情報処理部を選択する選択回 路と、

前に選択回路に対応する前記周辺接器が接続可 能とする情報処理部に対応して設けられ級選択回 路の信号を受けて該情報処理部の入出力端子を同時に絞周辺振器に切り替え接続する切替回路と、

を具備することを特徴とする切替器。

3. 発明の詳細な説明・

[産業上の利用分野]

本発明は、複数組の情報処理部とそれより少ない複数組の周辺機器との間で接続を切り替えて、 一組のコンピュータシステムを周辺機器の超数まで構成できるようにする切替器に関するものである。

[従來の技術]

 示気置との切り替え投続がなされ場合がある。

このような従来例の動作において、切響スイッチポタンの一つを押すと、それに対応したゲート 開閉制御線、例えばボタンB nを押すと1 / 3 選択制御回路 6 3 により対応したゲート開閉制御線 G nにゲート開閉信号が出力される。この信号によりアナログスイッチ S nnが隔き、C P U 1 の

画像信号が幾子CiiからSii1を通り画像信号の 増稿器 6 】により表示装置。4 に出力される。 たお B.n. B.n. B.nのボタンを誤って同時に二つ以 上押しても1/3選択制御回路63により、ゲー ト期間制御線です。 Gュュ Gュコに対しゲート開閉 信号はその一つのみに出力される。同様にして芸 示禁匿4には、切替スイッチポタンBィi、 B isに 対応したCPV2.CPV3の画像信号出力端子 C 12. C 13からの画像信号を画面に表示すること が可能となっている。上記の切替スイッチポタン Bィーとcaにはロック式又はノンロック式のいず れを用いてもよく、ノンロック式の場合にはその 状態を保持する機能を1/3選択制御回路 6.3 に 特たせることが通常行われている。以上は、表示 装置 5 側についても全く同様であり、切替スイッ チポタンB si, B s2. B s s の 接作で、 C P U I . CPU2, CPU3の一つの画像信号を表示装置 5の画面に長示することができる。

なお、キーポードやマウス等の入力機器は、従 来、CPVと一体のものとして考えられ、CPV

にくくり付けの構成となっていた。

[発明が解決しようとする課題]

しかしながら、上記従来の技術における切替器6では、表示装置4、5のみを切り替え接続するものであり、キーボードやマウスを切り替え接続することができないため、パーソナルコンピュータの制御操作は、表示装置4、5とは別の場所にあるCPU1、2、3にくくりつけの構成になっているキーボード11、12、13やマウス12、2、32で制御する必要があり、

- (1) キーボードヤマウスはCPUの台数だけ設置する必要があること。
- (2) キーボードヤマウスはそれだけ場所を必要 とすること。
- (3) CPUを制御するのにそれ対応のキーボードやマウスの設置場所まで移動しなければならな

などの経済性、操作性で問題点があった。

本発明は、上紀間題点を解決するために提案するものであり、その目的は、複数の信頼処理部よ

り少ない表示装置とそれらの表示装置に対応した キーボードやマウスから構成して、その表示装置 等の組数に対応した操作性の良いコンピュータシ ステムを経済的に構成できるようにする切替器を 提供することにある。

[課題を解決するための手段]

上記の目的を達成するための本発明の切替器の Krocは、

表示装置と入力機器の入出力端子を有する複数 趣の情報処理部と、これより少ない組数の表示装 置と入力機器からなる周辺機器とを任意に接続し て、終周辺機器の最大組数までの数のコンピュー タシステムを構成可能にする切替器であって、

前記周辺機器に対応して設けられ前記情報処理 部から任意の一つを選択する切替スイッチボタン と、

複数の前記切替スイッチボタンからの選択信号 を受け同一の前記博報処理部が選択されたときに 一つの該選択信号に限定する規制回路と、

前記規制回路からの選択信号を受け前配局辺機

持開平 4-177525 (3)

器に対応して一つの情報処理部を選択する選択回 路と、

可記選択回路に対応する前記周辺機器が接続可能とする情報処理部に対応して投げられ該選択回路の信号を受けて該情報処理部の入出力端子を同時に該周辺複器に切り替え接続する切替回路と、

を具備することを特徴とする。

(作用)

[其施例]

以下、本発明の実施例を図面に基づいて詳細に 説明する。

てPU1、2、3の各画像信号出力端子C11.
C11は、それぞれアナログスイッチS111.
S111を通し、画像信号増幅器 6 1 にまとめて接続された後に表示装置 4 に接続されるとともに、同様にそれぞれアナログス 4 ッチ S111.
S111、S112を通し、画像信号増幅器 6 2 にまとめて接続された後に表示装置 5 に接続された後に表示装置 5 に接続される。キーボード 4 1 は、各ディジタルスイッチ S111、S111の入力に共通に接続され、それらの各出力がCPU1、2、3の名キーボード端子C11に表続されるとともに、同様にキーに、C11に接続されるとともに、同様にキーには、C11に表続されるとともに、同様にキーには、C11に表続されるともに、同様にキーには、C11に表表されるともに、同様にキーには、C11に表表されるともに、同様にキーには、C11に表表されるともに、同様にキーには、C11に表表されるともに、同様にキーにより表示を通過を表示しませば、C11に表表されるともに、同様にキーには、C11に表表されるともに、同様にキーには、C11に表表されるともに、同様にキーには、C11に表表されるともに、同様に表現を表示しませば、C11に表表されるともに、C11に表表されるともに、C11に表表されるともに、C11に表表されるともによりませば、C11に表表されるともによりませば、C11に表表されるともによりませば、C11に表表されるともによりませば、C11に表表されるともによりませば、C11に表表されるともによりませば、C11に表表されることによりませば、C11に表表されることによりませば、C11に表表されることによりませば、C11に表表されることによりませば、C11に表表されることによりませば、C11に表表されることによりませば、C11に表表もはないませば、C11に表表されることによりませば、C11に表表されることによりませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もはないませば、C11に表表もないませば、C11に表もないませば、C11に表表もないませば、C11に表もないますはないませば、C11に表もないませば、C11に表もないませば、C11には、C11に表もないませば、C11に表もないませば、C11に表もないませば、C11に表もないませ

第1図は本発明の一実施例を示す棋成図である。 本奥施例は、表示装置4. 5 とキーボード41. 5 1 およびマウス 4 2、 5 2 から成る 2 組の周辺 装置と、3組のパーソナルコンピュータの情報処 理部(以下CPUと略記する)1.2.3を備え、 本実施例の切替器 6 をそれらの周辺装置とCPU 1. 2. 3の間に設けて、周辺装置の組数のパー ソナルコンピュータシステムを構成可能にする場 台を倒とする。上記構成において、CPU1,2. 3は、それぞれ画像信号端子C;;, C;;, С;;,と、 キーポード始子C12, C23, C33と、マウス撮子 Cis. Css. Cssとを有する。また、表示装置も またはら、キーボード41または51、マウス4. 2 または 5 2 の名局辺蘂麗の紙には、それぞれC PV1,CPV2.CPV3に対応した切替スイ ッチボタンB41, B42, B43またはB51, B62, Bょっを致ける。

次に、本実施例の切替器 6 の構成を説明する。 6], 6 2 は各表示装置に対応する画像信号増稿 器、6 3, 6 4 は選択回路を構成する1 / 3 選択

ーボード 5 2 は、各ディジタルスイッチ S 121. S 1212の入力に共通に接続され、それらの各出力が C P U 1 . 2 . 3 の各キーボード増子 C 121. C

り替器 6 の内部接続において、D 11. D 12. D 12. は制御回路 6 3 に対する制御 線、D 11. D 12. D 12. は制御回路 6 5 から制御回路 6 4 に対する制御線、G 11. G 12. G 12. は制御回路 6 3 からアナログスイッチ S 111~ S 112 およびディジタルスイッチ S 121~ S 122 に対するゲート 開閉制 御線、G 21. G 22. G 22はアナログスイッチ S 21

[~S:1:およびティジタルスイッチS:1:1~S:1:1 に対するゲート開閉制御線を示す。制御回路 6 5 は、同一のCPUに対して2組以上の周辺提器の 接続を防止する回路であって、それぞれ切替スイ ッチボタンB‹1とB‹1の紅、B‹2とBょ2の紐、B ηとΒερの組を入力とし、それぞれ制御線Dηと D;;, D;;とD;;, D;;とD;;の比較を行い、い ずれの制御扱も働いていない時に切替スイッテボ タンB.i.~B.sまたはBsi~Bssの切替信号を遜 沿させ、制御回路 6 3 . G 4 に入力する。制御回 路 6 3 . 6 4 は、同一組の周辺機器に対し、 2 台 以上のCPUの接続を防止する回路であって、制 御回路63を例にとると、3本のゲート開路制御 繰り11. Gjs. Gjsのうち、制御回路 6.5 を歴由 した切替スイッチボタンBa١、Ba₃、Bょ₃の最新 の切容信号に対応したゲート開閉制御線(本だけ に切り替えて動作保持する。 制御回路 6.4 もこの 制御回路63と同じ機能を有する。

以上のように構成した実施例の動作および作用 を述べる。

CPU1とは接続できない。切替スイッチボタンB 4:で押すと制御回路 6 5 で制御線D 1:の不動作を確認して対応したゲート開始制御線 C 2:を動作保持する。このゲート開閉制御線 D 2:に出力されたゲート開閉信号は制御回路 6 4 に入り、ゲート開閉制御線 C 2:を介して閉じられたスイッチ S 2:1 S 2:2 を通して周辺機器 5 . 5 l . 5 2 と C P U 2 が接続される。以下、同様にして周辺機器で選択接続中でない C P U は、もう一方の超の周辺機器より選択接続可能である。

以上に述べたように、本実施例ではスイッチの 係成を2×3の完全マトリックスとすることで、 任意の周辺機器と任意のCPUとを接続できる。 上記実施例において、例えば切替スイッテボタン Bil. アナログスイッチ5:11. ディジタルスイッチSil. Sileを設けない場合には周辺機器5. 51. 52の超はCPU1とは接続できない。同 様に切替スイッチボタンBil. アナログスイッチ Sils. ディジタルスイッチSils. Sileを設け ない場合には周辺機器4. 41. 42の組はCP

この時、表示装置 5. キーボード 5 1. マウス 5 2 の組の周辺機器より C P U 1 に接続するため、切信スイッテボタンB si を押しても、制御線 D ii が動作中であるから制御回路 6 5 により拒否され、

D3とは接続できなくなる。したがって、本発明の他の構成として、特定の周辺機器を特定のCPU群とのみ接続したい場合には、上記マトリックス配置上で接続したい部分だけにアナログスイッチとディジタルスイッチによる切替回路を設け、周辺機器側にはそのCPU群の一つを選択する切替成を実現することができる。

なお、本発明における表示装置にはディスプレイのほかに印刷や描画装置等を含み、入力機器にはキーボードやマウス以外の入力装置を当然含んでいる。このように、本発明はその主旨に沿って種々に応用され、種々の実施整様を取り得るものである。

[発明の効果]

以上の説明で明らかなように、本発明の切容器 によれば、複数の情報処理部とこの情報処理部よ り少ない周辺協器の切替接続を二重接続すること なく行うことができるので、

(1) 表示装置、キーボード、マウス等の周辺故

特開平 4-177525 (5)

器は情報処理部の台数だけ設置する必要がないこ_。 と

- (2) 表示装置、キーポード、マウス等の周辺投 器はそれだけ場所を必要としないこと。
- (3) 情報処理部を制御するのにそれ対応のキーボードやマウス等の設置場所まで移動しなくてもよいこと。
- (4) 表示装置。キーボード、マウス等の周辺機器の同時切容により、表示内容と入力規器が情報 処置部と一致するため、誤操作防止が図れる。 などの利点が得られる。

4. 図面の簡単な説明

第 〕図は本発明の一要施例を示す様成図、第 2 図は従来例の切替器を有するパーソナルコンピュ ータシステムの額成図である。

 1. 2. 3. 情報処理部 (CPU)、4.5.

 表示装置、6. 切替器、41.51...キーボード、42.52...マウス、63.64...切替信号制御

 回路、65...制御回路、日本1.Bas...Bas...Bss...

 Bas...切替スイッテボタン、5111、511s.

S₁₁₁, S₁₁₁, S₁₁₂, S₁₁₂…アナログスイッチ、
S₁₂₁, S₁₂₂, S₁₂₂, S₁₂₁, S₁₂₂, S₁₂₁, S₁₂₁, S₁₂₁, S₁₂₁, S₁₂₁, S₁₂₂, S₁₂₂…デ、
4 ジタルスイッチ。

代理人 志 贺 苗 士 多





